平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名　兼松日産農林株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7961　URL　http://www.knn.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 高崎　實
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 田中　昭浩　TEL 03-3265-8231

四半期報告書提出予定日　平成25年11月1日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,837	14.8	347	45.8	356	51.0	331	34.4
25年3月期第2四半期	5,087	△5.4	238	△16.3	236	△15.7	246	△8.5

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　310百万円　(57.5%)　25年3月期第2四半期　197百万円　(1.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7.98	―
25年3月期第2四半期	5.94	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	7,487	4,238	56.6	102.23
25年3月期	7,430	3,927	52.9	94.74

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　4,238百万円　25年3月期　3,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	9.9	600	4.7	600	4.5	600	12.4	14.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	41,492,000 株	25年3月期	41,492,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	31,572 株	25年3月期	31,172 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	41,460,428 株	25年3月期2Q	41,461,070 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀の金融緩和や政府の公共投資等により経済成長を目指す「アベノミクス」による景気刺激策を背景に、円安の定着による輸出の増加、企業業績の回復、消費マインドの改善など、景気回復の兆しが現れてきましたが、一方では、円安による輸入諸資材の価格上昇、海外では欧州の債務問題やアメリカの財政状況、中国の景気の先行き不安などの下振れ要因もあり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの主な事業分野であります住宅関連業界は、東北地方の復興需要、雇用と所得の環境改善への期待、消費税引き上げ前の駆け込み需要等により、新設住宅着工戸数は前年同期を上回る水準で推移しています。

このような事業環境のもと当社グループは、技術力と営業の強化に継続して積極的に取り組みました。この結果、当第２四半期連結累計期間における経営成績は、売上高58億３千７百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益３億４千７百万円（前年同期比45.8%増）、経常利益３億５千６百万円（前年同期比51.0%増）、四半期純利益３億３千１百万円（前年同期比34.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

ジオテック事業

地盤改良事業は、緊急を要する東日本大震災の復旧需要が一段落したことにより沈下修正工事は大幅に減少しましたが、当社独自の木質杭を施工材料とする「環境パイル工法」の大手住宅メーカーの採用実績が増加したこと、地盤改良技術や施工材料の販売に注力したことから業績は堅調に推移いたしました。 売上高は23億８千７百万円（前年同期比3.8%増）と微増に止まりましたが、営業利益は４千６百万円（前年同期比528.3%増）となりました。

木材加工事業

住宅の耐久性向上が求められていることや新設住宅着工戸数の増加に加え消費税引き上げ前の駆け込み需要もあり、保存木材の販売、保存処理薬剤の販売共に前年同期を上回ることができました。特に乾式保存処理木材の製造は、昨年末に処理設備を東北工場に増設し、製造能力を拡大させましたが、４工場ともフル稼働の状況が継続しております。売上高は20億８千万円（前年同期比24.0%増）と大幅に増加しましたが、原材料価格の高騰と高止まりにより営業利益は６千６百万円（前年同期比10.9%減）にとどまりました。

セキュリティ機器事業

ＩＰカメラ、ネットワークレコーダー等の新製品の投入と人員の増強により販売に注力しました。新規顧客の増加に加え、前期より継続している大型の案件が業績の向上に寄与しました。 また、事業の更なる拡大を目指し、人員の増強、主力の名古屋営業所の増床のための移転、東北地区の営業拠点の開設準備等の施策を行いました。売上高は７億３千７百万円（前年同期比44.4%増）と大幅に増加し、営業利益は２億１千８百万円（前年同期比38.9%増）となりました。

石油製品事業

ハイブリッド車の普及によるガソリン消費の減少、円安と原油価格の高止まりによる厳しい環境のなか、店頭におけるサービスの充実と配達による販売の拡大に務めた結果、燃料油の販売数量は前年同期比増加しました。売上高４億６千２百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益１千１百万円（前年同期比767.0%増）となりました。

その他事業

マッチ事業は、使い捨てライターの安全対策規制の影響やコンビニエンスストア向けの出荷増から販売数量が前年同期比増加しましたが、食品用ラップを中心とする雑貨品の販売は低調に推移しました。売上高１億６千９百万円（前年同期比1.3%減）、営業損失０百万円（前年同期は営業損失７百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末の総資産は74億８千７百万円であり、前連結会計年度末と比較して５千７百万円増加いたしました。

流動資産は、現金及び預金は減少いたしましたが、受取手形及び売掛金、商品及び製品、原材料の増加等により１億１千６百万円増加いたしました。固定資産は、投資有価証券の減少等により５千８百万円減少いたしました。

流動負債は、支払手形及び買掛金は増加いたしましたが、短期借入金の減少等により２億７千３百万円減少いたしました。固定負債は長期借入金、繰延税金負債は減少いたしましたが、長期未払金、商品保証引当金の増加等により２千万円増加いたしました。

純資産はその他有価証券評価差額金が減少しましたが、四半期純利益３億３千１百万円の計上等により前連結会計年度末から３億１千万円増加し、42億３千８百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、海外景気の下振れリスクはあるものの、輸出の持ち直しや各種政策効果が発現する中で景気回復の動きが確かなものとなることが期待されます。当社グループでは主要な事業が好調に推移したこと、下期においても雇用と所得の環境改善への期待や消費税引き上げ前の駆け込み需要等により新設住宅着工戸数の増加傾向は継続するものと想定されること、またセキュリティ機器事業も引き続き堅調であることから、平成26年３月期第２四半期及び通期連結業績は前回予想（本年５月２日発表）を上回ることが見込めるため、本年10月25日に業績予想を修正いたしました。

通期の連結業績予想につきましては、売上高115億円、営業利益６億円、経常利益６億円、当期純利益６億円を見込んでおります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,269	1,032
受取手形及び売掛金	1,944	2,001
商品及び製品	584	642
仕掛品	0	0
原材料	299	526
その他	77	89
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	4,169	4,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	263	261
機械装置及び運搬具（純額）	290	261
土地	2,200	2,200
リース資産（純額）	23	23
その他（純額）	21	25
有形固定資産合計	2,800	2,772
無形固定資産	14	14
投資その他の資産		
投資有価証券	344	294
その他	132	150
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	446	414
固定資産合計	3,260	3,201
資産合計	7,430	7,487

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,716	1,899
短期借入金	868	533
リース債務	14	12
未払法人税等	83	51
賞与引当金	102	111
その他	262	166
流動負債合計	3,047	2,774
固定負債		
長期借入金	16	―
リース債務	18	19
繰延税金負債	49	36
退職給付引当金	206	206
商品保証引当金	57	93
資産除去債務	17	17
その他	88	101
固定負債合計	454	474
負債合計	3,502	3,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,325	3,325
資本剰余金	1,146	1,146
利益剰余金	△626	△295
自己株式	△4	△4
株主資本合計	3,840	4,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87	66
繰延ヘッジ損益	△0	0
その他の包括利益累計額合計	87	66
純資産合計	3,927	4,238
負債純資産合計	7,430	7,487

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	5,087	5,837
売上原価	4,052	4,656
売上総利益	1,035	1,181
販売費及び一般管理費	796	833
営業利益	238	347
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	3	1
受取補償金	－	8
受取賃貸料	3	1
その他	3	2
営業外収益合計	10	15
営業外費用		
支払利息	13	4
賃貸借契約解約違約金	－	1
その他	0	0
営業外費用合計	13	6
経常利益	236	356
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	56	15
特別利益合計	57	15
特別損失		
固定資産除却損	0	0
厚生年金基金脱退拠出金	13	－
特別損失合計	13	0
税金等調整前四半期純利益	280	372
法人税、住民税及び事業税	33	41
法人税等調整額	△0	△0
法人税等合計	33	41
少数株主損益調整前四半期純利益	246	331
四半期純利益	246	331

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	246	331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	△21
繰延ヘッジ損益	△1	0
その他の包括利益合計	△49	△20
四半期包括利益	197	310
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	197	310
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	280	372
減価償却費	45	55
有形固定資産売却損益（△は益）	△0	△0
有形固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却益	△56	△15
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3	0
賞与引当金の増減額（△は減少）	3	8
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△2	0
商品保証引当金の増減額（△は減少）	13	35
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	13	4
持分法による投資損益（△は益）	△3	△1
売上債権の増減額（△は増加）	74	△56
たな卸資産の増減額（△は増加）	48	△285
仕入債務の増減額（△は減少）	△209	182
その他	△67	△72
小計	134	227
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△13	△5
法人税等の支払額	△18	△71
法人税等の還付額	0	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	103	152
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40	△55
有形固定資産の売却による収入	43	0
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
関係会社株式の売却による収入	366	34
預り保証金の返還による支出	－	△0
預り保証金の受入による収入	0	1
敷金及び保証金の回収による収入	－	1
その他の支出	△7	△5
その他の収入	2	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	365	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△484	△305
長期借入金の返済による支出	△46	△46
預金の担保解除による収入	11	－
リース債務の返済による支出	△8	△8
割賦債務の返済による支出	－	△11
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△527	△371
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△58	△237
現金及び現金同等物の期首残高	1,187	1,269
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,128	1,032

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ジオテック	木材加工	セキュリティ機器	石油製品	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,301	1,678	510	425	4,915	171	5,087	―	5,087
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	101	―	23	124	―	124	△124	―
計	2,301	1,779	510	448	5,040	171	5,212	△124	5,087
セグメント利益又は損失（△）	7	74	157	1	240	△7	233	5	238

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種マッチ製造販売事業等であります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去５百万円であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成25年４月１日 至平成25年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ジオテック	木材加工	セキュリティ機器	石油製品	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,387	2,080	737	462	5,668	169	5,837	―	5,837
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	221	―	23	245	―	245	△245	―
計	2,387	2,302	737	486	5,913	169	6,083	△245	5,837
セグメント利益又は損失（△）	46	66	218	11	342	△0	342	5	347

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種マッチ製造販売事業等であります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去５百万円であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。